

## 事業計画書

1. 申請する法人について													
法人名		特定非営利活動法人 結											
法人の設立登記日		2013	年	2	月	25	日						
法人設立前の団体の設立日			年		月		日	※NPO法人設立前に任意団体等で活動実績がある場合は記載する					
ホームページ・SNS	ホームページ	<a href="https://yuikonoshita.my.canva.site/">https://yuikonoshita.my.canva.site/</a>					Facebook						
	X (旧Twitter)						YouTube						
	Instagram						その他						
活動歴・これまでの活動実績 <各活動90字以内>	活動①	2013年2月 志木市において県の委託を受けて児童自立生活援助事業(自立援助ホーム)の運営を開始。											
	活動②	2025年8月 自主事業として中高校生から若者を対象とした子ども食堂を公民館等にて開始。月2回の夕食の提供、無料食品等の提供さらに志木市まいにち子ども食堂と共催で月1回の弁当配布及び無料食料等の提供を開始。											
	活動③	2025年11月 自主事業として子ども食堂月1回の弁当配布及び無料食料等の提供。											
	活動④	2026年4月 自主事業として子ども食堂毎週金曜日弁当配布及び新店舗にて居場所事業開始。											
	活動⑤												
助成金等の交付実績  ※ 2023年4月～2026年3月に交付された助成金等を記載 ※ 5件以上ある場合は、直近のものから5件を記載		助成金等名称			交付者			交付年月		交付額			
	助成金等①	ひまわり基金助成事業			埼玉県社会福祉協議会			2025	年	11	月	100,000	円
	助成金等②								年		月		円
	助成金等③								年		月		円
	助成金等④								年		月		円
	助成金等⑤								年		月		円
申請する事業に従事する社員		氏名			役割								
	社員①	志村亜希子			法人代表理事、自立援助ホーム 樹の下ホーム ホーム長								
	社員②	河野直美			法人理事、自立援助ホーム 樹の下ホーム 副ホーム長、居場所事業 樹の下ベース 統括責任者								
	社員③	木下雄二			自立援助ホーム 樹の下ホーム 児童指導員、居場所事業 樹の下ベース 補佐要員								
	社員④	小堀久美子			自立援助ホーム 樹の下ホーム 児童指導員、居場所事業 樹の下ベース 補佐要員								
	社員⑤	柴田 佑亮			自立援助ホーム 樹の下ホーム 児童指導員、居場所事業 樹の下ベース 補佐要員								
	その他従事社員数	6			人		相談支援事業担当1人、居場所事業夕食提供担当1人、子ども食堂事業担当2名、ICT事業担当2名						
	従事社員総数	11			人								

## 2. 申請する事業について

事業名	中高校生から若者の居場所づくりと若者応援事業	事業区分	ステップアップ支援事業	事業分野	こどもまんなか
事業対象	中高校生から若者	対象地域	埼玉県志木市及び近隣地域	事業実施期間	2026/7/1 ~ 2027/2/28

### 解決したい地域課題及びその現状<300字程度>

家庭での養育が困難な若者多くは、虐待等の経験や家族の支えの欠如により、退所後も孤立しやすい状況にあります。義務教育終了後は公的支援に限られ、生活・就労・対人関係の課題が顕在化し、適切な支援につながらないまま深刻化するケースが見られます。地域においては、こうした若者を早期に発見し、支援へつなぐ仕組みや、安心して過ごせる居場所、継続的な伴走支援が不足しており、支援の狭間にある若者への対応が大きな課題となっています。

### 上記の地域課題の解決に向けた事業の概要<300字程度>

本事業は、孤立しやすい中高校生から若者の課題に対応するため、子ども食堂部門・イベント部門・相談支援部門の3つを柱に展開します。子ども食堂では安心して集える食と交流の場を提供し、イベントでは多様な体験機会を通じて社会参加や自己肯定感の向上を図ります。こうした関わりの中では把握した個々の課題に対しては、相談支援部門が中心となり、行政や関係機関と連携しながら伴走型の支援を実施します。さらに、各部門を横断した支援体制により、孤立の予防と地域とのつながりの再構築を進め、継続的な自立支援の仕組みづくりを目指します。

### 事業効果（※事業の効果はどのように県内広域に及ぶか、単一市町村内で行う事業の場合は、事業の効果が他の地域にどのように裨益するのか具体的に記載）<300字程度>

本事業の効果として、個人の自立を支えると同時に、社会全体の持続性を高める点にあります。困難な状況にある若者が適切な支援につながることで、孤立や貧困の固定化を防ぎ、自己肯定感や社会参加意欲を通じて、将来的な就労や地域参画が促進され、社会の担い手としての成長が期待されます。これらは子ども・若者育成支援推進法の基本理念である、社会生活を円滑に営むための包括的な支援の実現に資するものです。また、同法が推奨するワンストップで相談体制の整備が十分に進んでいない現状において、本法人の実践はその補完的役割を担い、若者政策の移行期における実効性のある支援モデルとして重要な意義があると考えています。

### 事業の発展性（これまでの取組を踏まえ、事業の自立的な運営や効果的な実施に向けてどのような工夫・改善を行うか具体的に記載）<300字程度>

本事業の発展に向けては、三部門を横断したケース共有や定期的な評価会議を実施し、支援の質と一貫性を高めると共に利用者の変化や成果を指標化・可視化し、根拠に基づく改善を行います。さらに、体験型のイベントを通じてボランティアや地域住民、企業の参画を促し、関係機関と継続してユースワークの手法を取り入れた人材育成を進め、支援力の向上を図ります。さらに、行政や関係機関との連携実績と成果の蓄積・発信し、SNS等も活用して広く情報発信を行うことで信頼性を高め、委託事業化を視野に入れた持続可能な支援モデルを構築し、地域への展開と広域的な波及を図ります。

### 事業の先駆性・モデル性（※事業の手法など他団体の取組のモデルとなり得るポイントを記載）<300字程度>

本事業は、「子ども・若者育成支援促進法」の理念を踏まえつつ、地域における支援体制の未整備という課題に対応するものです。とりわけ、子ども・若者支援地域協議会の設置が進んでいない現状においては、困難を抱える当事者が自ら課題を整理し相談機関へアクセスすることは容易ではなく、実際には支援につながる前の段階で孤立し問題が深刻化してしまいます。そこで本事業では、中高校生から成人期の若者を対象に、気軽に立ち寄れる居場所を拠点としたアウトリーチ機能を強化し、問題の早期把握と教育・福祉・就労等の関係機関と連携し、切れ目のない包括的支援へとつなぐ体制を構築することで、地域における予防的支援の充実を目指します。

### 対象地域や事業規模の拡大（※ステップアップ支援事業のみ、これまでの事業から具体的にどのように拡大させるのか具体的に記載）<300字程度>

本事業は、これまでの特定地域に限定して実施してきた居場所・相談支援を駅近拠点の利便性を生かし周辺市町村へ段階的に拡大するものです。具体的には、近隣自治体の学校・福祉・就労支援機関と連携し、相談支援の先の受け皿としての居場所機能を果たします。また、多様な背景や特性を持つ若者にも対応できるようプログラムを充実させ、支援メニューの幅を広げます。さらに、SNS等による情報発信を強化し、企業や地域団体との協働を進め、新たな利用者や連携先を開拓します。これにより支援対象・提供内容・連携先を拡張し、事業規模の拡大と将来的な委託事業化を目指します。

### 3. 申請事業の具体的な取組内容

取組 ①	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	イベント部門 宿泊型自然体験プログラム	新規	8月 ~ 8月	秩父市	旧大滝小学校三峰分校
	取組の目的<200字程度>				
	自然体験活動を通じて、若者の協調性や自己規制、思いやりといった心理的・社会的能力を育むとともに、日常生活や野外活動技能などの実践的な力の向上及び森林保全などの環境への理解を深めることを目的とします。現代において不足しがちな体験の機会を補い、自然の中で他者と協働するしながら多様な経験を重ねることで、主体性や課題解決力や豊かな人間性を養い、将来にわたり自立して生きる力の育成を目指します。				
	取組の内容<100字程度>				
	森林保全に取組む団体と連携し、安全に配慮したハイキングやキャンプファイヤー、星空観察などの自然体験及び参加者同士で協力して行う野外炊事を通じ達成感や楽しさを共有する機会を提供します。				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
中高生～若者	月 1回 × 1か月 = 1回	各回 25名 × 1回 = 25名	1名あたり 3,000円 × 25名 = 75,000円		
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
2名	5名	1団体	百年の森づくりの会:プログラム活動において指導員の役割を担う。結:森づくりの会のサポート及び活動の目的達成の促進する。		

取組 ②	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	イベント部門 ICTを活用した対象別社会参画促進プログラム	新規	7月 ~ 2月	志木市	志木市本町5-7-15(樹の下ベース)
	取組の目的<200字程度>				
	ICT講座及び制作体験を通じて、自らの手で形にした成果が社会や他者の役に立つ実感を得られる学びの機会を提供します。小さな成功体験を積み重ねることで自己効力感を高めるとともに、他者と協働しながら課題に取り組む力やコミュニケーション力の向上を図ります。さらに、実践的な学びを通じて就業意識の醸成を促し、将来の進路選択や社会参加に向けた準備につなげていくことを目指します。				
	取組の内容<100字程度>				
	ICTに詳しいボランティアを講師にレンタルパソコンを使用し少人数の教室を開催します。基本的に年代別対象別としより専門的な講義の場合はネットワークを利用しハイブリット型の講師体制で現場の伴奏者と組み合わせて、利用者のニーズに対応していきます。				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
中高生～若者	月 2回 × 8か月 = 16回	各回 4名 × 16回 = 64名	1名あたり 500円 × 64名 = 32,000円		
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
2名	2名	1団体	社会福祉士等資格を有するボランティアを講師依頼。結:広報、サポートなどを行う。		

取組 ③	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	個別相談部門 個別相談支援	新規	7月 ~ 2月	志木市	志木市本町5-7-15(樹の下ベース)
	取組の目的<200字程度>				
	個別相談支援部門では、支援の狭間に置かれやすい若者が生きる力を育み、適切な支援につながりながら自分らしく生きていけるように支えることを目的とします。若者が相談支援につながりにくい現状や行政において不登校・ひきこもり傾向の若者の受け皿が不足している課題に対応するため、関係機関と連携しながら信頼関係の構築を重視した伴走型支援を目指します。				
	取組の内容<100字程度>				
	居場所づくりを通じてアウトリーチした課題を抱えている若者や社会的養護に関わった経験のある若者の個別相談、関係機関と連携した伴走支援を行います。また、行政と連携し不登校児童や引きこもりがちな若者の居場所として個別対応を行っていきます。				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
中高生～若者	月 8回 × 8か月 = 64回	各回 2名 × 64回 = 128名	1名あたり	0円 × 128名 = 0円	
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
2名	1名	1団体	市町村子ども支援課や地域共生社会推進課、社会福祉協議会などからの相談と連携支援を想定。相談支援経験者をボランティアにサポート体制を構築。		

取組 ④	取組名	新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	イベント部門 地域の夏祭りへの出店企画	新規	8月 ~ 8月	志木市	志木市本町5-11-13(喫茶店 夏楓舎)
	取組の目的<200字程度>				
	志木市の敷島神社夏祭りは明治期から続く地域の伝統行事であり、毎年多くの来場者でにぎわう重要な地域資源です。本事業では、この祭りを通じて若者が地域活動に関わる機会を創出し、人とのつながりを育むことで孤立の予防を図ります。さらに地域との関係性を再構築し、活力あるまちづくりと若者の健全な成長を支えることを目的とします。				
	取組の内容<100字程度>				
	祭りのメイン通りに面した喫茶店を借用し出店します。仕入れ、調理準備、装飾、広報を事前に行い、当日は接客・販売などを分担して担う体験をすることで、働く経験と対人スキルの向上を図ります。				
	対象者	事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
中高生～若者	月 1回 × 1か月 = 1回	各回 10名 × 1回 = 10名	1名あたり	0円 × 10名 = 0円	
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)		
5名	12名	1団体	喫茶店 夏楓舎:場所の提供 結:ボランティアのサポート等		

取組 ⑤	取組名		新規/拡充/継続	実施時期	実施場所(市町村名)	実施場所(施設名等の名称)
	イベント部門 食育を兼ねた料理教室		新規	10月 ~ 2月	志木市	志木市本町5-7-15(樹の下ベース)
	取組の目的<200字程度>					
	食を通じて生活の基盤を整え、他者とのつながりを育む取り組みとして位置付けています。調理や食事の準備、共に食卓を囲む経験を通じて、基本的な生活力や自己管理能力を養うとともに、安心できる関係性の中で対話を生み出す機会とします。また、栄養や食習慣への理解を深めることで心身の安定を図り、社会参加や自立に向けた土台作りを目的とします。					
	取組の内容<100字程度>					
	お菓子作りや季節・伝統料理の調理体験を実施します。実際の料理工程を学びながら、基本的な生活力や食への関心を育み、参加者同士の交流や達成感を通じて心身の安定と自立意欲の向上を図ります。					
	対象者		事業実施回数	参加者数合計	事業収益見込額	
	中高生～若者		月 1回 × 3か月 = 3回	各回 6名 × 3回 = 18名	1名あたり 0円 × 18名 = 円	
従業員数	ボランティア数	連携団体数	連携する団体の名称(役割)			
1名	2名	団体	地域の飲食業やボランティア:食育を兼ねた料理教室の講師 結:運営、広報、当日サポート			

#### 4.申請事業の目標

事業全体の目標				
No.	目標	目標値	測定方法	
1	相談支援部門の利用者数及び相談内容	100%	参加者名簿及びアンケート調査	
2	各イベントの参加者数及び満足度の割合	100%	参加者名簿及びアンケート調査	
3				
4				
5				
各取組の成果指標				
No.	取組名	目標	目標値	測定方法
取組①	イベント部門 宿泊型自然体験プログラム	利用者の満足度	80%	アンケート及びヒアリング
取組②	イベント部門 ICTを活用した対象別社会参画促進プログラム	利用者の満足度	80%	アンケート及びヒアリング
取組③	個別相談部門 個別相談支援	利用者の満足度	80%	ヒアリング
取組④	イベント部門 地域の夏祭りへの出店企画	利用者の満足度	80%	ヒアリング
取組⑤	イベント部門 食育を兼ねた料理教室	利用者の満足度	80%	ヒアリング

## 5. 申請事業の実施に向けた課題とその解決のための取組・工夫等

課題①	具体的な課題	財源の確保
	課題解決のための取組・工夫	助成金や補助金の積極的な活用に加え、地域企業からの協賛や寄付の呼びかけを行います。また、活動の可視化と実績の蓄積・発信を通じて、行政からの委託事業として任せられる信頼関係の構築に努めます。あわせて出店や体験事業による自主財源の確保にも取り組み、持続可能な運営体制を目指します。
	目標	助成金・補助金を4, 5件獲得し、寄付者の確保を目標とします。併せて自主事業収入で年間運営費の80%を賄う体制を整えることを目標とします。
課題②	具体的な課題	人材不足、ボランティア教育
	課題解決のための取組・工夫	財源の不安定さにより新たな人材確保が難しい状況に対応するため、事務作業の簡素化や業務フローの整備を進め、スタッフの負担軽減と効率化を図ります。また、若者支援の特性を踏まえたボランティア育成を重視し、ユースワーカー養成講座の活用により一定水準の支援の質を担保する体制を構築していきます。
	目標	若者に関わるボランティア希望者に対して、ユースワーク養成講座の受講やユースワーク関連の研修への参加率100%を目指します。
課題③	具体的な課題	行政との連携・協働体制
	課題解決のための取組・工夫	行政との連携の初期段階として、既存事業の見学受入れや情報提供を通じて理解を深めてもらう機会を作ります。簡易的な実績報告や事例共有を行い、顔の見える関係作りを進めていきます。周知協力や紹介対応など段階的に連携を広げ、信頼関係の構築と将来的な共同体制の基盤づくりを目指します。
	目標	2か月に1回は情報提供などを行うよう努めていきます。

## 6. 3年後(2029年度)、法人がどのように成長しているか<300字以内>

居場所を拠点としたアウトリーチと個別支援が地域に定着し、若者が継続的に利用できる基盤が確立していることを目指しています。また、行政や教育・福祉機関との連携が進み、紹介や共同対応が日常的に行われる体制へと発展しています。また、ボランティアのユースワーカーの育成が進み、支援の質と量の両面が向上しています。自主財源と公的資源を組み合わせた安定的な運営のもと、地域に不可欠な若者支援の担い手としての役割を果たしていきます。

## 収支予算書

法人名 特定非営利活動法人 結  
事業名 中高校生から若者の居場所づくりと若者応援事業

1. 収入の部					739,500							
項目		予算額(円)			積算内訳							
a.助成金交付申請額		500,000			※千円未満切り捨て/採択区分により補助率と交付額が変わる可能性があります							
b.自己資金		42,500			※自動計算							
c.事業実施による収入等		197,000			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)	参加費	(該当する事業)	事業1	75,000	3,000	円	×	25	人	×	1	回
(収入の内容)	参加費	(該当する事業)	事業2	32,000	500	円	×	4	人	×	16	
(収入の内容)	事業費	(該当する事業)	事業4	90,000	300	円	×	300	食	×		
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
d.その他		0			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(収入の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
2. 支出の部					739,500							
項目		予算額(円)			積算内訳							
a.会場費		12,000			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	時間貸し賃借料	(該当する事業)	事業4	12,000	1,500	円	×	8	時間	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
b.通信運搬費		5,900			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	AEDレンタル送料	(該当する事業)	事業1	2,600	2,600	円	×	1	式	×		
(支出の内容)	チラシ等郵送料	(該当する事業)	共通経費	3,300	110	円	×	30	回	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
c.旅費交通費		128,000			金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	(燃費10 走行距離100×@170)高速道路料金含む	(該当する事業)	事業1	48,000	4,000	円	×	6	台	×	2	回
(支出の内容)	ボランティア講師交通費	(該当する事業)	事業2	32,000	1,000	円	×	16	回	×	2	人
(支出の内容)	ボランティア相談支援員交通費	(該当する事業)	事業3	32,000	1,000	円	×	32	回	×		
(支出の内容)	コインパーキング使用料	(該当する事業)	共通経費	16,000	800	円	×	20	回	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		

<b>d.消耗品費</b>				206,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	食材費	(該当する事業)	事業1	50,000	2,000	円	×	25	人	×		
(支出の内容)	食材費及び容器、袋等	(該当する事業)	事業4	90,000	300	円	×	300	食	×		
(支出の内容)	食材費	(該当する事業)	事業5	9,000	500	円	×	6	名	×	3	回
(支出の内容)	熱中症対策(経口補水液他)救急用品、安全対策用品、衛生用品、調理用品等	(該当する事業)	事業1	17,000	17,000	円	×	1	式	×		
(支出の内容)	事務用品・日用品・衛生用品・調理用品等	(該当する事業)	共通経費	40,000	40,000	円	×	1	式	×		
<b>e.備品費</b>				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>f.委託費</b>				0	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>g.謝金</b>				205,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	野外活動、登山ガイド、自家用車使用運転等	(該当する事業)	事業1	30,000	5,000	円	×	6	人	×		
(支出の内容)	ボランティアイベント講師料等	(該当する事業)	事業5	15,000	5,000	円	×	3	回	×		
(支出の内容)	ボランティア相談支援員	(該当する事業)	事業3	160,000	5,000	円	×	32	回	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>h.人件費</b>				12,000	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	ボランティア協力金	(該当する事業)	事業4	12,000	1,000	円	×	12	回	×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		
<b>i.その他</b>				170,600	金額1	単位	×	金額2	単位	×	金額3	単位
(支出の内容)	ボランティア行事保険	(該当する事業)	共通経費	5,600	560	円	×	2	式	×	5	日
(支出の内容)	AEDレンタル	(該当する事業)	事業1	3,000	3,000	円	×	1	式	×		
(支出の内容)	PC等レンタル	(該当する事業)	事業2	162,000	4,500	円	×	4	台	×	9	か月
(支出の内容)		(該当する事業)		0			×			×		